作成日：2004年9月 1日
改訂日：2015年1月15日

製品安全データシート

１．製品及び会社情報

製品名	カウンター乳剤
製品コード	DICB
会社名	株式会社エス・ディー・エス バイオテック
住所	東京都中央区東日本橋一丁目１番５号
担当部門	管理部環境安全・品質保証グループ
電話番号	(03)5825-5518
FAX 番号	(03)5825-5504
緊急連絡先	(03)5825-5518
奨励用途及び使用上の制限	農薬（殺虫剤、登録以外の使用は不可）
整理番号	１７１４－０１

２．危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

（物理化学的危険性）

爆発物	分類できない
可燃性又は引火性ガス	分類対象外
エアゾール	分類対象外
支燃性又は酸化性ガス	分類対象外
高圧ガス	分類対象外
引火性液体	区分外
可燃性固体	分類対象外
自己反応性化学品	分類できない
自然発火性液体	区分外
自然発火性固体	分類対象外
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	分類対象外
酸化性液体	分類できない
酸化性固体	分類対象外
有機過酸化物	分類できない
金属腐食性化学品	分類できない

（健康に対する有害性）

急性毒性：経口	区分外
急性毒性：経皮	区分外
急性毒性：吸入（気体）	分類対象外
急性毒性：吸入（蒸気）	分類できない
急性毒性：吸入（粉じん）	分類対象外
急性毒性：吸入（ミスト）	分類できない
皮膚腐食性及び刺激性	区分外
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分１

呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分１Ｂ
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	区分２
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分２(腎臓)
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分２（腎臓、肝臓、血液、赤血球）
吸引性呼吸器有害性	分類できない

(環境に対する有害性)

水生毒性（急性）	区分１
水生毒性（長期間）	区分１

ＧＨＳラベル要素

絵表示又はシンボル

注意喚起語　危険

危険有害性情報
重篤な眼の損傷
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
腎臓の障害のおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露による腎臓、肝臓、血液、赤血球の障害のおそれ
水生生物に非常に強い毒性
長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き　安全対策
使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
ミスト、蒸気を吸入しないこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
取り扱い後は手をよく洗うこと。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
必要なとき以外は、環境への放出を避けること。

応急措置
ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師の診断、手当を受けること。
気分が悪いときは、医師に連絡すること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
直ちに医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。
皮膚刺激又は発疹が生じた場合：医師の診断、手当を受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

漏出物を回収すること。

保管　施錠して保管すること。

廃棄　内容物、容器を法、条例に従って廃棄すること。

３．組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別　混合物

有効成分化学名　(*RS*)-1-[3-クロロ-4-(1,1,2-トリフルオロ-2-トリフルオロメトキシエトキシ)フェニル]-3-(2,6-ジフルオロベンゾイル)ウレア (IUPAC)

一般名　ノバルロン (ISO)

化学特性　$C_{17}H_9ClF_8N_2O_4$ (分子量492.7)

成分及び含有量

(成分)	(含有量)	(CAS番号)	(官報公示整理番号) (安衛法)	(化審法)
①ノバルロン	8.5 %	116714-46-6	4-(13)-223	−
②有機溶剤、界面活性剤等	91.5 %	−	−	−

４．救急措置

吸入した場合　被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合　多量の水で洗うこと。
皮膚刺激又は発疹を生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。

眼に入った場合　水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合　口をすすぎ、無理に吐かせない。医師の診断、手当てを受けること。

５．火災時の措置

消火剤　粉末消火剤、二酸化炭素、泡消火剤など

使ってはならない消火剤　棒状水

火災時の特定の危険有害性　燃焼ガスには、一酸化炭素、塩化水素、窒素酸化物等が含まれる。

特有の消火方法　濃厚な廃液が河川などに流入しないように充分注意する。

消火を行う者の保護　保護具を着用する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項・保護具及び緊急時措置

漏出液の処理作業には防毒マスク、ゴム手袋等適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項　汚染部は大量の水と中性洗剤を用いて洗浄する。洗浄の際、濃厚な廃液が河川などへ流入しないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

土砂などを用いて漏出液の流れを止め、空容器に回収する。

二次災害の防止策　付近の着火元・発火元を除去する。
風下の人を避難させ、漏出場所への人の出入りを禁止する。

７．取扱い及び管理上の注意

取扱い

技術的対策	火花を発生する機械器具などは使用しない。
安全取扱い注意事項	危険物(第四類･第三石油類 非水溶性液体(2000 L))の取扱いを行う。容器の破損や容器からの漏洩を防ぎ、液体や気体の流出に注意する。
接触回避	吸い込んだり皮膚や眼に触れないよう､不浸透性の作業衣､ゴム手袋、防毒マスク、ゴーグル型保護眼鏡を着用して、できるだけ風上から作業する。
保管	
技術的対策	危険物(第四類･第三石油類 非水溶性液体(2000 L))の管理を行う。
安全な保管条件	適当な換気のある乾燥した冷暗所に密封して保管する。気体が滞留する恐れのある場所では、火花を発生する機械器具などは使用しない。また、静電気が発生あるいは帯電しないように注意する。
安全な容器包装材料	詳細は製品のラベルに従うこと。

８．ばく露防止措置

設備対策	換気を適正に行う。
許容濃度	日本産業衛生学会で設定されていない。
保護具	
呼吸器用保護具	防毒マスク
手の保護具	ゴム手袋
眼の保護具	ゴーグル型保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	不浸透性作業衣、安全靴

９．物理的及び化学的性質

外観	黄色澄明可乳化油状液体
臭い	データなし
ｐＨ	5.3 (20.0 g/80 mL水溶液)
引火点	104.8 ℃ (クリーブランド開放式)
比重	1.07 (25 ℃)
溶解度	データなし

10. 安定性及び反応性

化学的安定性	通常の状態では安定
危険有害な分解生成物	燃焼ガスには、一酸化炭素、塩化水素、窒素酸化物等が含まれる。

11. 有害性情報

急性毒性	経口 LD50	＞2,500 mg/kg (雌ラット) (区分外)
	経皮 LD50	＞4,000 mg/kg (雌雄ラット) (区分外)
	吸入 LC50	データ不足 (分類できない)
皮膚腐食性及び刺激性		刺激性あり (ウサギ) (GHS分類基準以下であり区分外)
眼に対する重篤な損傷性又は刺激性		刺激性あり(ウサギを用いた動物実験において､21日間で完全には回復しない作用が認められた。750倍希釈液は刺激性なし) (区分1)
呼吸器感作性		データなし (分類できない)
皮膚感作性		モルモットを用いた動物実験で陽性が認められた (区分1B)
生殖細胞変異原性		データ不足 (分類できない)
発がん性		データ不足 (分類できない)

生殖毒性	区分2の成分を3.0%以上含有する（区分2）
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分2（腎臓）の成分を10 %以上含有する（区分2（腎臓））
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分1（赤血球、肝臓）の成分を1.0%以上10%未満含有し、区分2（腎臓、血液）の成分を10%以上含有する（区分2（腎臓、肝臓、血液、赤血球））
吸引性呼吸器有害性	データ不足（分類できない）

12. 環境影響情報

生態毒性

魚毒性	コイ	96時間 LC50　4.01 mg/L
その他	オオミジンコ	48時間 EC50　0.0034 mg/L
	藻類	72時間 ErC50 5.59 mg/L NOECr 1.3 mg/L

以上の結果から、水生環境有害性(急性)及び水生環境有害性(長期間)を区分１とした。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物の廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の規則を遵守し､適切に行うこと。

空容器、空袋、汚染容器等の処理は、内容物を完全に除去し、｢廃棄物の処理及び清掃に関する法律｣(施行令第6条)等の関連法規ならびに地方自治体の規則を遵守し､適切に行うこと。

これらの処理を委託する場合は、所轄の地方自治体の許可を得た一般(或いは、特別管理)産業廃棄物業者と契約を結んだ上、処理を委託すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号（UN No.）	3082
品名（国連輸送名）	環境有害物質、液体、他に品名が明示されていないもの
国連分類	クラス 9
容器等級	Ⅲ

国内規制	危険物の取り扱い及び管理を行う。
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	引火性液体(危険物第四類･第三石油類 非水溶性液体)であるので｢火気厳禁｣。容器が破損しないように、水ぬれや乱暴な取扱いを避ける。
応急措置指針番号	171

15. 適用法令

農薬取締法	農薬登録 第21303号
消防法	引火性液体 危険物第四類･第三石油類非水溶性
化学物質管理促進法	成分① 第二種指定化学物質

16. そ の 他

参考文献	ノバルロン原体SDS No.1714（株式会社ｴｽ･ﾃﾞｨｰ･ｴｽ ﾊﾞｲｵﾃｯｸ）

・危険・有害性の情報及び評価は必ずしも充分ではないので、取扱いには充分ご注意願います。
・記載の注意事項は通常の取扱いを対象とした参考情報です。取扱いの際は用途に適した安全対策を実施のうえご利用ください。
・記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいており、新しい知見、法令の改正等により改訂されることがあります。
・記載内容は､情報提供であって保証内容ではありません。